



わくわくとしょかん

第 123 号(2013年秋)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551

どようびのおはなしかい
 まいしゅう どようび
 1かい じどうしつ
 1ぶ 2:30~ (4さい~)
 2ぶ 3:00~ (小学生)

おひざにだっこのおはなしかい
 まいつき だい3 もくようび
 10:30~
 1かい じどうしつ
 3さいまでのおこさんと保護者

ファミリー映画会
 まいつき だい2 にちようび
 2:00~
 3かいかいぎしつ

10月

としょかんカレンダー

11月

月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5
7	⑧	9	10	11	12
14	⑮	16	17	18	19
21	⑳	23	24	25	26
28	㉑	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	⑤	6	7	8	9
10	11	⑫	13	14	15	16
17	18	⑰	20	21	22	23
24	25	㉒	27	28	29	30

□…市立図書館・蓬萊・清水・吾妻・飯坂・もちずり・北信学習センターはお休みです。

○…子どもライブラリーはお休みです。

※その他の学習センターについては、各図書室にお問い合わせください。





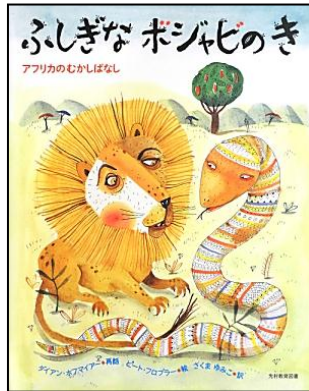
E (えほん)

『りきしのほし』 (E カトウ)
加藤 休ミ / 著 イースト・プレス



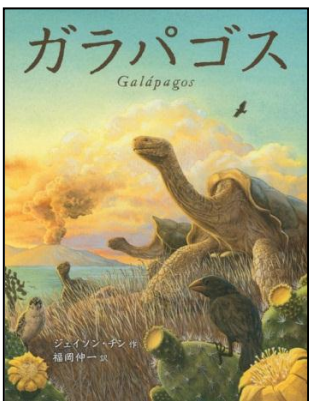
りきしのかちかちやまは、まいにちきびしいけいこにはげんでいます。でも、なかなかつよくなれません。けいこちゅうは、おやかたのきびしいこえがとんできます。つらくてやめたくなるときもあるけれど、やっぱりつよくなりたい！ けいこのせいかは、ほんばしよでみせてやるぞ！

『ふしぎなボジャビのき アフリカのむかしばなし』
(E フロブ) ダイアン・ホフマイアー / 再話 光村教育図書



おなかをすかせたどうぶつたちがみつけたのは、おいしそうなるき。ところがみきにはヘビがまきついていて、きのなまえをいわないとみをとらせてくれません。なまえをしっているのはサバンナのおうさま・ライオンだけ。そこでシマウマがライオンをさがしにでかけますが…。

『ガラパゴス』 (E チンジ)
ジェイソン・チン / 作 福岡 伸一 / 訳 講談社



200種類以上の植物、130種類以上の生き物の固有種(そこにしかない生物種)が生息しているガラパゴス諸島。動物たちが独自の進化をとげた理由はなんだったのでしょうか。海の底から新しい島が生まれ、何百万年もかけて消滅するまで、動物たちがどのように進化していったのかを伝える絵本です。

あたらしいほん

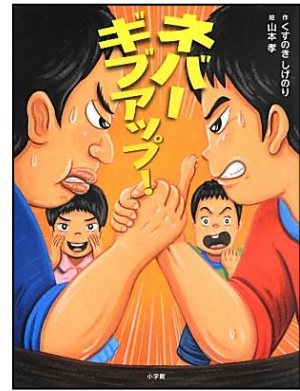
Y (よみもの)

『こぎつねボック』 (Y913 イマム)
いまむら あしこ / 作 鎌田 暢子 / 絵 文研出版



こぎつねのボックは、森のおくに、とおさん、かあさん、おねえちゃんとすんでいます。みんなのおてつだいをするけれど、まだ小さいからしっぱいばかり。おてつだいをさせてもらえなくなったボックは、いえをでていくことにして…。こぎつねボックの、なみだとゆうきとぼうけんのはじめてのいえでものがたり。

『ネバーギブアップ』 (Y913 クスノ)
くすのき しげのり / 作 山本 孝 / 絵 小学館



クラスではうでずもうがはやっているけれど、ジュンが一番弱いのでちっとも楽しくありません。ところが「かがやけ！ 第一回四年三組うでずもうナンバー1 決定戦」が開かれることに。落ち込むジュンを見て、担任の山下先生が朝特訓をしてくれます。ジュンは「続ける力」を信じて、勝つことができるのでしょうか？

『テラプト先生がいるから』 (Y93 ブイエ)
ロブ・ブイエ / 作 西田 佳子 / 訳 静山社



アメリカのスノヒル小学校の新学期。「学校はきれい」「ママがいるから友だちなんていらぬい」などと思っていた新5年生の子どもたち7人が、新米のテラプト先生と出会い、先生のユニークな授業で、少しずつ変わっていきます。しかし、学校が楽しいところになりつつあった矢先に、大事件が起こり…。



B (そのた)

『ホッキョクグマが教えてくれたこと
—ぼくの北極探検3000キロメートル—』 (B29 テラサ)
寺沢 孝毅 / 著 ポプラ社



知床の流氷が少なくなっています。これは北極の寒さが弱まっているせい？ 自然写真家の寺沢さんは北極の様子を自分の目で確かめるため、北極探検の旅に出ることにします。「こんちき号」と名付けたヨットで、いざ出発！

『追跡！ なぞの深海生物』 (B48 フジワ)
藤原 義弘 / 写真・文 野見山 ふみこ / 文 あかね書房



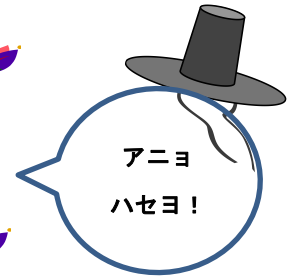
みんなは海の底の生物は見たことがあるかな？ 光の届かない暗い海の底には、とても不思議な形・色をした生物がたくさんいます。深海とは水深何メートルから呼ぶのかなど、海の豆知識も載っています。

『富士山の大図鑑 世界にほこる日本の名山』
(B29 フジサ) 富士学会 / 監修 PHP研究所



富士山は、むかしから日本のシンボルとして親しまれてきた特別な山です。2013年6月には「世界遺産(文化遺産)」に登録されました。富士山には、わたしたちの知らないひみつがたくさんあります。この本では写真やイラストをみながら、富士山のもつ魅力を知ることができます。「富士山は、どんな山？」と聞かれたときに答えられるようになろう！

かんこくのほん



『ふたごのもうふ』

ヘウオン・ユン／さく トランスビュー（Eユンヘ）

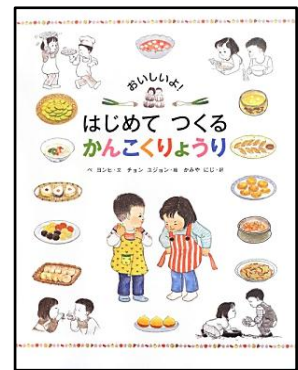
おもちゃ、おへや、ママのおなか。なんでもわけっこしてきたふたごの姉妹。でも大きくなって、とうとうもうふの取り合いに！



『おいしいよ！はじめてつくるかんこくりょうり』

ペヨンヒ／文 チョン・ユジョン／絵 福音館書店（B59ペヨン）

チヂミ、プルコギ、のりまきなど、かんこくのかていりょうりを春、夏、秋、冬のきせつごとに紹介。おうちのひとと一緒につくってみよう。



『きょうはソンミのうちにキムチをつけるひ！』

チェ・インソン／文 パン・ジョンファ／絵 セーラー出版（Eパンジ）

かんこくのゆうめいな食べ物、キムチ。どのうちにも「じぶんのうちのあじ」があるみたい。きょうは、ソンミのうちの裏庭にいるねずみのお母さんもマネしてつくってみるよ。



『ふしぎなしろねずみ』

チャン・チョルムン／文 ユン・ミスク／絵 岩波書店（Eユンミ）

ある雨のひ、ねているおじいさんのはなからでてきたのは、なんとしろねずみ！ おどろいたおばあさんがおいかけると、いしがきのなかに入ってしまうんですが…。かんこくの昔話。

